

市内に広がる小域福祉ネットワーク 地域は家族。広がる『地域の輪』

現在、市内46小学校区のうち、32カ所に設置されている小域福祉ネットワーク(左図参照)。近隣での支え合いや、高齢者や児童の見守り、世代間交流など、地域の実情に即した多彩な活動が進められています。今回、利用者と活動している人に、小域福祉ネットワークの活動などについて話を聞きました。

利用者に好評

小域福祉ネットワークは、地域福祉を推進するための、地域住民の集まりです。若宮小学校区の『まんまるひろば』(下写真)では週1回、2歳以下の子と保護者を対象に遊びの場を提供。利用者の大田垣順子さん(山木)は「子どもを楽しく遊ばせてくれるので、その間にママ同士で情報の交換ができます。私のストレスの解消にもなるんですよ」、安達

布美子さん(門前)は「近所に同じくらい年齢の子どもがいまません。同じく

い年齢の子と遊ぶことができるので、子どもとついでいい刺激になります」と話すなど利用者に好評です。

活動の原動力は…

牛久小学校区小域福祉ネットワークの会長の小池茂夫さん(左上写真)は「うちの地域では、高齢者・青少年・環境部会と広報委員会を組織していますが、みん

なが本当によく活動してくれます」と話します。その原動力については「例えば、青少年部会が毎日行っている子どもの見守り。通学路に立ち、子どもが成長する姿を見ることは、本当に楽

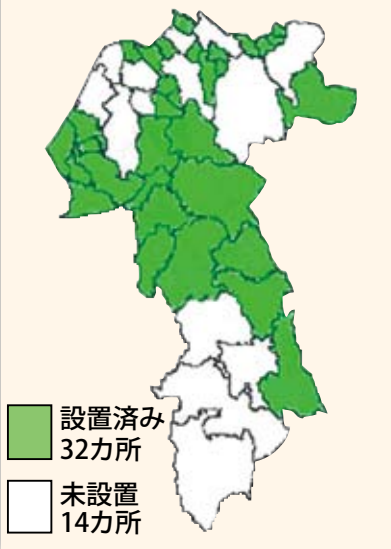
しいものです。子どもは地域の宝ですね。活動しているみんなも『地域の子どもの成長に『喜び』を見いだしているのではないでしょうか』と話します。また地域の人は「みんなががんばってくれるから」と手作りまんじゅうなどの差し入れがあるそうです。地域の輪が広がっています。

新たな取り組み

牛久小学校区では、安心生活見守り支援事業として、一人暮らしの高齢者世帯な

「地域みんなが、よく活動してくれます」と話す小池茂夫さん

小域福祉ネットワーク設置状況
(平成25年2月1日現在)



笑い声が絶えない若宮小学校区の『まんまるひろば』

民生委員・児童委員に相談を

民生委員・児童委員は、福祉関係全般の相談を受け、支援を行っているボランティアです。個人情報やプライバシーの保護に配慮しながら、次のような活動を行っています。

- 相談内容に応じた行政サービスの情報を提供
- 高齢者宅への訪問・見守り
- いじめや不登校、児童虐待などの早期発見・問題解決に向けた、児童相談所や関係機関との連携

福祉に関する支援を必要とする人は、各地域の同委員に相談してください。

問合せ先 Web 保健福祉課 ☎23 9768



市原市社会福祉協議会 ～歳末たすけあい～



笑顔が広がる餅つき大会

同協議会は、地域福祉の推進を目的とする社会福祉法人です。

平成22年から『歳末たすけあい募金』を活用し、『歳末たすけあい運動』を実施しています。

今年度は、同協議会支部や小域福祉ネットワークが中心となり、地域の人と一緒に18カ所で餅つき大会やクリスマス会などを実施しました。

今後も触れ合いと支え合いのあるまちづくりの推進を目指し、事業の拡充を図っていきます。

問合せ先 同協議会 ☎24 0011

問合せ先

Web 保健福祉課
☎23 9768

市では、南総地区で進められている安心生活見守り支援事業を、市内全域に広げていく予定です。また地域の人の理解を得ながら、小域福祉ネットワークの設置を、市内の全小学校区に進めていきます。